

■ 埼玉県議会議員【草加市選出】

がもつ徳明

県議会ニュース

2024. 夏号

 草加市新里町 1422 番地
 ☎ 048-929-2366

 県政に関するご意見
 ご要望をお寄せください。
 TEL048-822-9606
 FAX048-822-9408

 公明党埼玉県議団ホームページ
 www.komei-saitama.com

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA


 南 1 区草加市
 県議会議員

蒲生 徳明

埼玉県、そして地元草加市の発展のために、 皆様の思い、要望等を県政にお伝えし、叶えて参ります!

県民の皆様、そして地元草加市民の皆様こんにちは。
 日頃より、蒲生徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
 今回の県政報告は、前号以降の議会活動、要望活動、そして日常の現場での活動を含めご報告をさせていただきます。

新しい年度も迎え、我が埼玉県議会公明党議員団も新たな決意で県政の発展を目指して参ります。私は、どこまでも現場主義を貫き、皆様の要望実現のために日々取り組んでまいりますので一層のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

令和 6 年 6 月定例議会報告

(6 月 17 日から 7 月 5 日)

 < 定例会をふりかえって～県議団団長 蒲生徳明 >
 (県議会広報ホームページ掲載)

今定例会の一般質問には萩原一寿議員が立ちました。
 萩原議員は、若者支援、学校給食費の無償化、災害対策等、また、これまで団として繰り返し質問し、前進を求めてきた県立学校体育館の空調設備について、さらに視察先の病院で取り組まれていた、脊椎損傷患者さんに大きな希望を与えることのできる再生医療に対する県の考え方等について問いました。知事をはじめ執行部からおおむね前向きな答弁を得ています。

また、知事提出議案、議員提出議案については団で詳細に議論を行い、委員会質疑等も行った上で条例、人事案件、意見書等のすべてに賛成しました。さて、新紙幣が議会開会中の 7 月 3 日に発行開始となり、新 1 万円札には本県ゆかりの「近代日本経済の父」と呼ばれる渋沢栄一翁の肖像がデザインされ本県も喜びに沸いています。議会閉会日には、渋沢栄一翁になりきり、知事はシルクハットをつけてあいさつを行いました。埼玉のこの勢いを県政に大きく反映させるために公明党議員団は全力を尽くしてまいります。

【最近の主な活動から】 (前号掲載以降の活動)

① 知事、教育長との懇談を行いました

◆地元の鈴木画伯が「埼玉近代美術館」で絵画展を開催するにあたって、そのご報告のために、知事と教育長を訪問されました。私は開催について、県と調整をさせて頂き、面会当日も同席致しました。

4 月 5 日

草加市の著名な画家である「鈴木画伯と大野埼玉県知事との懇談」に同席。



同日、「県教育長との懇談」に同席。



※鈴木喜美子さんについて

1943 年 7 月、埼玉県草加市生まれの画家。
 1978 年、日本で最初の公害発生地である旧足尾銅山を含む「足尾」を訪れ、依頼、現在まで足尾に通い続けて足尾を描き続け、この地の変遷と再生を描くことを、人生を託して取り組んでいます。2025 年 1 月 14 日～19 日まで「埼玉近代美術館」で集大成の絵画展を開催。

② 日常の議員活動等

◆ 県議会議員としての会合等への参加、地域活動（前回号後）

3 月 31 日

 草加市の「芭蕉庵楽市」を訪問。
 多くの市民でにぎわっていました。


「今様草加祭り」で、子どもカルタの内容の説明をお聞きしました。
 草加の子ども達の成長と活躍を祈ります。



リノベーションした賃貸住宅・店舗に広場と農園を併設した複合施設『ミノリテラス草加』が誕生。お披露目の日に訪問。



©KOMEITO

4月21日

「新里町会定期総会」に参加。挨拶をさせていただきました。



「草魂祭」(谷塚駅西口地区で行われた地域おこし)に参加。



4月26日

草加市「東部工業会(青柳工業界)設立50周年記念祝賀会」に参加。ご挨拶をさせていただきました。(司会の三遊亭圓雀を囲んで)



4月28日

◇草加市「春の子供フェスタ」に参加。(まつばら綾瀬川公園)



4月29日

草加市「稲荷コミセン祭り」に参加。



5月3日

憲法記念街頭を開催。挨拶(草加駅)



5月11日

「埼玉県行政書士会草加支部定時総会」に参加。支部長と。



5月19日

「日本ボーイスカウト埼玉県連盟ひがし地区年次総会」に参加。(草加市文化会館)



5月24日

「埼玉県行政書士政治連盟定期大会終了後の懇親会」出席。(ロイヤルパインズホテル浦和)



5月26日

「草加光陽育成会定期総会」に参加、挨拶。(草加市立勤労福祉会館)



「森フェス」:市内の音楽イベント「音楽の森ミニコンサート」に参加。



6月1日

草加市「宿場祭り開会式」(草加市立草加小学校)に参加。



6月2日

「草加市相撲振興会」総会、懇親会に参加、挨拶。



「埼玉県社会保険労務士政治連盟」定期大会後の懇親会で挨拶。(ホテル プリランテ 武蔵野)



「そうか革職人会」通常総会:懇親会に参加、挨拶。(会長と、草加市文化会館)



6月9日

「草加国際交流フェスティバル」草加国際村一番地(獨協大学)に参加し、学生と意見交換。



6月17日

「草加商工会議所通常議員総会」に出席、挨拶。(アコスホール)



6月23日

「同性婚について考える」展示 観賞:主催者である岩井さんと意見交換(草加マルイ)



7月7日

「草加市朝顔市」に参加。(綾瀬川公園)



「今様本陣草加宿」縁日に参加、演者の方と交流。



7月14日

草加市「一丁目、二丁目、三丁目町会」の八幡神社祭りに参加。



7月21日

「谷塚仲町町会夏祭り」に参加。(桃の木公園)



「遊馬町町会子ども夏祭り」に参加。(草加市立新里文化センター)



7月28日

「第39回埼玉県原爆戦没者慰霊式」に参加(さいたま共済会館)

8月2日

「谷塚納涼フェスタ」に参加、挨拶。



「清門町会夕涼み会」に参加(清門幼稚園)



8月15日

終戦記念街頭(草加駅)



8月25日

「両新田東町夏祭り」に参加。(両新田東公園)



8月26日

「夏休み草加っ子相撲教室」を見学(草加市清門小学校)



8月27日

「埼玉県部落差別解消推進条例制定2周年・県条例を具現化するための意見交換会」(さいたま共済会館)に参加。意見を述べました。

③日常の地域活動

(現場を歩き地域住民の声を聞く)

4月7日

地元「ヴィンティ草加 JAZZ コンサート」に参加。司会を務めさせて頂きました。



7月23日

「草加市内交通安全対策」を、PTA 会長、小学校長、草加警察、国交省参加で実施(草加市松原小周辺)



7月30日

「柳島町会親子合同防犯パトロール」に参加。住民との意見交換。

④先進例を学び、県政へ反映

4月30日～5月2日

団視察：「札幌医科大学付属病院：脊髄損傷再生医療の取組みについて」



団視察：「札幌市：市若者支援施設 ユースプラス」：若者支援の在り方。

団視察：「青森県庁：給食費無償化について」。



5月4日

「アイデアホーム耐震研究所(八潮市)」で、災害時に移動可能なコンパクト住宅について視察。



6月4日～5日

「産業労働委員会県外視察」(とちぎビジネス AI センター、アントラーズホームタウン DMO)

6月6日

「外国人在留支援センター(FRESC フレスク)」を団視察。(日本で暮らす外国人の支援)



6月11日～12日

団視察：「高知県庁」
(起業家教育プログラムについて)団視察：「高知県庁」(外国人
の人材確保、活躍戦略について)

6月14日

「元荒川水循環センター」を団視察(下水汚泥から肥料展開について)(公明新聞掲載記事参照)

7月24日～25日

団視察①「県立長野図書館」
(信州・学び創造ラボについて)②「福井県庁」(重症心身障害
者医療費助成制度について)

7月29日～30日

団視察①「大分県議会(若者応援条例について)」

②「未来応援コミュニティ
b-room」について③「コネクティブインパクト」
(ツルリバ運営について)

8月1日

「岩槻高齢者免許センター」を団視察

「(一社)コンパスナビ(若者の自立を支援する団体)」の皆様
と意見交換会

⑤公明新聞に掲載された県議団の活動記事

A. がん患者支援、広がる
外見ケア 在宅療養に補助
(2024/6/9 掲載記事より一部
抜粋)

埼玉県では、がん治療による外見(アピランス)の変化に悩む人や、AYA世代(15～39歳)のがん患者の終末期医療(ターミナルケア)に対して、各自治体で経済的負担を軽減する助成事業が広がりを見せている。背景には、支援を実施する市町村を補助する県の「がん患者ウェルビーイング支援事業」がある。公明党県議団(蒲生徳明団長)が推進し、2024年度からスタートした。

■県内の公明議員、一丸となって推進

がん患者への支援については、蒲生団長が2016年12月定例会で訴えたことを皮切りに、党県議団が一貫して推進。20年12月定例会で橋詰昌児議員が、22年9月定例会で萩原一寿議員が、昨年2月定例会で西山淳次議員(当時)が粘り強く訴えてきた。

現在も党のネットワークの力を生かし、各自治体で公明議員が議会質問や予算要望を実施するなど、支援が一人でも多くのがん患者に届くよう、一丸となって事業の展開を進めている。

B. 下水汚泥を堆肥と肥料に
年間50万トンの有効活用へ
(7/23掲載記事より一部抜粋)

循環型社会の実現に向け、埼玉県は下水処理場から排出される汚泥の堆肥化と肥料化を進めている。4月末には、農林水産省が新設した規格「菌体りん酸肥料」に全国の自治体で初めて登録。世界的に高騰する化学肥料に代わる安価な肥料として普及が期待されている。

下水汚泥の活用に向け、公明党県議団は、蒲生徳明団長が2017年2月定例会予算特別委員会で、安藤友貴議員が22年9月定例会で訴えるなど、一貫して推進してきた。県は今後、焼却施設のある他の場所でも燃焼灰の肥料化の実現を検討する方針だ。

⑥「埼玉県の新年度予算」について

【令和6年度埼玉県当初予算について】
(一部埼玉県ホームページより転載)～歴史的課題への
挑戦と未来への確
かな布石～

本県は、今、人口減少・超少子高齢社会の到来、そして、激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応と

いう、時代の転換期における2つの歴史的課題に直面している。これら歴史的課題に敢然と立ち向かい、10年後、20年後を見据えた未来志向の施策を展開することで、本県の持続的な発展に向けた礎としていく。こうした基本的な考えに立ち、令和6年度当初予算は、「歴史的課題への挑戦」「『日本一暮らしやすい埼玉』の実現に向けた取組の深化」に最優先に取り組むこととし、限りある財源を重点的に配分して編成した。

令和6年度当初予算案			
歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石			
(1) 歴史的課題への挑戦	(2) 「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた取組の深化		
一般会計	2兆1,197億4,400万円	前年度比	▲4.1%
(全会計合計)	3兆5,545億2,912万4千円	前年度比	▲2.8%
同時提案	13か月予算による防災・減災、国土強靱化等の推進(令和5年度2月補正)		
一般会計	319億5,822万円		
埼玉県知事記者会見 令和6年2月13日 ②			